

協会ニュース

平成 29 年 9 月 11 日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.or.jp URL http://qmac.jp/

平成 29 年度 第 1 回シンポジウム「市場創造と技術革新」

開催日時 : 平成 29 年 9 月 6 日 (水) 13:20 ~ 17:00
場 所 : 広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室
参加者 : 30 企業・団体 154 名

ICT(Information and Communication Technology)が急速に発展し、産業や社会構造が変革しており、一方、我が国では、人口減・少子高齢化による働き手不足が深刻化しています。

IoT(Internet of Things)やビックデータ、人工知能(AI)等を活用することで産業や社会が抱えるさまざまな課題を解決することが期待され、本シンポジウムでは、ビックデータ、AI 等を活用したビジネスを展開している 2 つの企業にお越しいただき、ビックデータ、AI の活用の事例と導入に向けてのポイントやヒントについてご講演いただきました。

シンポジウム当日は 30 企業・団体 154 名と多数の方にご参加いただきました。

講演第 1 部では、「人工知能の動向とビジネスへの適用事例」と題して、株式会社日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 デジタルソリューション推進本部 AI ビジネス推進部 主幹技師 渡辺 憲和 様に、人工知能技術の紹介と日立の人工知能によるビジネスへの適用事例、人工知能を適用するにあたってのポイントについてご講演いただきました。

講演第 2 部では、「アナリティクス(データ分析)による IBM の経営改革」と題して、日本アイ・ビー・エム株式会社 Distinguished Engineer(技術理事) 山田 敦 様に、IBM が長年に渡って取り組んできたデータとアナリティクスを使った経営改革の事例と成功に向けての取り組みについて経営者の視点と分析者の視点からご講演いただきました。

お二人の講演後、広島工業大学 情報学部 教授 長坂 康史 先生をコーディネーターとして迎え、パネルディスカッションが行われました。会場から寄せられた多くの質問に講演者が回答することで、講演者の本音を伺うことができ、その結果、講演内容の深掘りが行われ、参加者の理解もより深まりました。

アンケート結果では、『目標設定の重要性を認識した』『AIは万能でなく 人の判断が必要となることを理解した』『データ分析を展開するには組織作りが大切』などの感想が寄せられ、非常に有意義なシンポジウムになりました。



日立製作所
渡辺 憲和 氏



日本 IBM
山田 敦 氏



パネルディスカッションの様子
(左からコーディネーターの長坂 氏、山田 氏、渡辺 氏)